

ポスト・パンデミック時代の 東アジア国際協力について 后疫情时代的东亚国际合作

開催趣旨

山梨学院大学と中国アモイ大学は「ポストパンデミック時代の東アジアにおける国際協力」をテーマとするシンポジウムを企画しました。アジアを中心に、米中緊張やロシアウクライナ紛争の影響を受けつつも、ポストパンデミック時代の国際協力の現状と将来を議論します。さらに、アメリカン大学の趙全勝教授が、「米中両国の競争と協力による国際秩序への影響について」をテーマに基調講演を行います。

セッションは以下の4つを設けます：

- (1) 趙全勝教授による基調講演
- (2) 米中デカップリングと国際協力の行方
- (3) RCEPにおける中日韓協力
- (4) 東南アジアにおける大国間の競争と協力（歴史と現状）



開催情報



開催時間

2023年6月24日(土)



開催場所

山梨学院大学
クリスタルタワー8階



お問い合わせ先

ygu-irc@c2c.ac.jp



申込方法

こちらから→



主催機関

山梨学院大学国際共同研究センター
中国アモイ大学国際関係学院/南洋研究院



後援機関：山梨学院大学大学院

【プログラム】

国際シンポジウム「ポスト・パンデミック時代の東アジア国際協力について」

テーマ：「ポスト・パンデミック時代の東アジア国際協力について」

開催の趣旨：

2010年代半ばから、アメリカのトランプ政権が「米国第一主義」を打ち出し、米中競争が激しくなり、一部の国ではナショナリズムが台頭し、世界情勢が不安定性を増しつつあった。また、2020年初頭に発生した新型コロナウイルス感染症によるパンデミックが3年にも引き続き、各国は国境を閉鎖して、人、商品、資本の流れに障害をもたらし、世界諸国の経済発展、ソーシャル・ガバナンスに深刻な打撃を与えた。さらに、ロシアウクライナ紛争は、食糧とエネルギーの危機を引き起こしただけでなく、世界秩序にも深刻な影響を与えつつづけている。

2023年に入り、コロナウイルスの感染率と死亡率が大幅に低下したため、世界諸国では国際間の交流に対する規制緩和の措置が相ついで講じられ、経済の正常化が図られ、国際間の人員往来も少しずつ増えてきた。

これをきっかけに、本学国際共同研究センターと廈門大学国際関係学院は、「ポスト・パンデミック時代の東アジアにおける国際協力」と題する国際シンポジウムを企画した。世界経済をリードしていくと熱い期待を寄せられているアジアに焦点を絞って、米中緊張関係が引き続き、ロシアウクライナ紛争が継続している中、パンデミック時代のアジア諸国特に東アジア、東南アジアの国際協力の現状および将来のビジョンを議論し、意見交換し、諸課題への対処について共同で提言してみたい。それによって、日中両国の研究者間の相互交流、相互理解、相互提携を積極的に推進することが期待される。

これを踏まえ、本シンポジウムは以下の三つのセッションを設ける。(1) 米中デカップリングと国際協力の行方、(2) RCEPの枠組みにおける中日韓協力、(3) 東南アジア地域における大国間の競争と協力（歴史と現状）。

開催時間：2023年6月24日（土）

開催場所：山梨学院大学 クリスタルタワー8階

主催機関：山梨学院大学国際共同研究センター

共催機関：アモイ大学国際関係学院/南洋研究院

後援機関：山梨学院大学大学院

会 議 次 第

総合司会：劉 星・山梨学院大学法学部教授、国際共同研究センター副センター長

9:00-9:10 山梨学院大学学長による開会の辞

9:10-9:20 高 艶傑・廈門大学教授、副院長による挨拶

9:20-10:20 基調講演：「米中両国の競争と協力による国際秩序への影響について」

講演者：趙 全勝・アメリカン大学教授、山梨学院大学国際共同研究センター学術顧問

通訳：（蔣 辛未 山梨学院大学経営学部准教授 国際共同研究センター研究員）

- 10:20-12:00 **第一セッション 「米中デカップリングと国際協力の行方」**
司会：齋藤 雅代・山梨学院大学法学部教授、国際共同研究センター研究員
通訳：（阮 玉玲 山梨学院大学経営学部非常勤講師）
- 10:20-11:00 **報告1 「マレーシアの製造業における外資の波及効果に関する研究—中国と日本の比較の視点から—」**
報告者：張 森（厦門大学国際関係学院/南洋研究院副教授、副院长）
- 11:00-11:40 **報告2 「モビリティ・イノベーションにおけるグローバル競争とローカル競争のせめぎ合い：プロダクト、インフラ、都市計画、制度の関わりから」**
報告者：東 秀忠・山梨学院大学経営学部教授、国際共同研究センター研究員
- 11:40-12:00 **コメント**
コメンテーター：方 浩・山梨学院大学国際共同研究センター客員研究員
- 12:00~13:00 昼食
- 13:00-15:00 **第二セッション 「RCEP における中日韓協力」**
司会：野村 千佳子・山梨学院大学経営学部教授、国際共同研究センター研究員
通訳：（潘 秋静 山梨学院大学経営学部教員）
- 13:00-13:40 **報告1 「RCEP における日中韓ハイテク分野の協力研究」**
報告者：金 向东（厦門大学国際関係学院/南洋研究院アシスタント・プロフェッサー）
- 13:40-14:20 **報告2 「RCEP 発足の経緯と利用状況—日本側のデータによる分析」**
報告者：劉 曙麗・山梨学院大学経営学部准教授・国際共同研究センター研究員
- 14:20-14:40 **コメント**
コメンテーター：實川 和子・山梨学院大学法学部教授・国際共同研究センター研究員
- 14:40-15:00 **ディスカッション**
- 15:10-17:10 **第三セッション 「東南アジア地域における大国間の競争と協力（歴史と現状）」**
司会：粘 逸彦・山梨学院大学経営学部准教授、国際共同研究センター研究員
通訳：（蔣 辛未）
- 15:10-15:50 **報告1 「大国間競争に対応する ASEAN のパワーロジック：リレーショナルから構造へ」**
報告者：包 広将・厦門大学国際関係学院/南洋研究院准教授
- 15:50-16:30 **報告2 「東南アジア農村開発の特殊性～南タイを事例として～」**
報告者：古屋 亮（山梨学院大学経営学部教授）
- 16:30-16:50 **コメント**
コメンテーター：高 艶傑・厦門大学国際関係学院教授、副院长
- 16:50-17:10 **ディスカッション**
- 17:10-17:20 **総括** 熊 達雲 山梨学院大学国際共同研究センター長
- 17:20-17:30 **閉会の辞** 太郎良留美 大学院社会科学研究所科長

* 主旨講演と各セッションの報告、コメンテーターの時間は、通訳も含む